学校の教育目標：やさしく かしこく たくましく　経営方針：心の宝物が輝く学校

かさはら THE TEAM

令和 3 年度
笠原小学校
学校便り
6 月 29 日号

児童会：新しいリーダーによる新しいスローガンを楽しみにしています

青空と花と子どもたち

校長　鈴木　稔朗

今年度から、職員室南側の緑地を「遊んでもよい場所」としました。中央を東西に横切る深い溝が危険で、これまでこの場所での遊びを禁じていました。安全策として、教頭先生が、教育総務課の方と相談して、分厚いゴムのカバーをかけてくれました。おかげで、青空の下、かくれんぼ、虫採り、花摘み等、子どもたちの笑顔が輝く場所が広がりました。

紫陽花は盛りを過ぎようとしていますが、緑地の小さな草花は今が盛りです。校務員の曽我さんがこまめに草を刈ってくれる合間を縫って、たくさんの小花が競うように咲いています。小さなピンクの花の列が、茎を巻くように咲いていくネジバナ。2年つくし1組のA君が「タンポポみたいだ」と目を輝かせた、黄色が鮮やかなブタナ。3年生Bさんが、iPadの写真に収めたのは可憐な薄紫のニワゼキショウ。2年つくし１組のC君と名前を調べた、着物姿の女性のような風情ある小花はトキワハゼ。子どもたちと緑の草地に膝をつき、顔を近づけてはじめて、そこに小さいけれど素敵なお花畑が広がっているに気付きます。笑顔と好奇心の花を精一杯咲かせてくれている、笠原小学校の子どもたちの、小さくとも素敵な営みを、決して見逃さない視線を鍛えようと、職員一同日々決意を新たにしています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

6月5日（土）に開催しました、令和3年度の運動会は、保護者の皆様のおかげで、大成功裏に終えることができました。チェックカードによる健康観察、当日の提出、参観者の制限。そのどれにも、深いご理解と確かなご協力を頂きました。５月の連休明け、多治見市の新型コロナウイルス感染症の状況がよくないときも、感染者の方の年齢層の中心は、保護者の皆様のお年頃とは違っていたと、多治見市から情報提供を受けました。それは、本校はじめ、市内の小中学生の保護者の皆様が、子どもたちや学校のことを想い、日々のお暮らしの様々な場面で自粛を、すなわち強い決意で我慢や辛抱を重ねてくださったことの何よりの証です。本当にありがとうございます。そして、今後ともどうかよろしくお願いいたします。多治見市教委からも、くれぐれもお礼をお伝えしてほしいと言いつかっております。

このように、責任ある態度で、フォアザチームを徹底される保護者の皆様のお姿から、子どもたちは多くを学んでいます。その学びは、次のような姿として表れています。

6月21日（月）、予定通りプール開きを迎えることができました。文部科学省の指針に沿い、水質管理を徹底。密を避け、更衣は校舎内の空き教室を利用し、動線を工夫。プールサイドに2m間隔をマーキングし、活動中の無言を厳しく指導して実施しております。

子どもたちにとってプール学習は大の楽しみです。着替えるときからわくわくしておしゃべり、シャワーを浴びてその冷たさに悲鳴と歓声、プールに入ってはじける笑顔とわき起こる大歓声。それが当たり前の姿です。しかし、子どもたちは懸命に、それらわき起こる衝動を我慢しています。高学年はもとより、1年生も2年生も、シャワーを浴びても、水中ジャンケンをしても、ぐるぐるうずまきで、皆で輪になってプールの中を走っても、笑顔の中に声をぐっと押し込めています。「声は出さない。けれど、精一杯楽しみながら学んでほしい」心を鬼にして無理を言います。それを真正面から受け止め、揺れながら、しかし前向きに頑張る一人一人が本当に愛しく、誇らしいです。感染予防も、学びも楽しみもあきらめない。保護者の皆様、お願いです。こんな素敵なこの子を、どうか、思い切り抱きしめてやってください。